

# 男女共同参画社会の実現をめざして

〜今、もう一度、男女共同参画の必要性を考える〜

前回は、日野町における男女共同参画に関する取り組みとその現状についてお知らせしました。今回は、男女共同参画を進めるうえでの課題や取り組みの方向についてお知らせします。

## ◆男女共同参画の進捗から

### 見えてくる課題

これまで、全国各地において男女共同参画の進捗が図られてきましたが、なかなか進んでいないのが現状です。ただ、様々な取り組みを進めた結果、次のような課題が見えてきました。

◇男女共同参画に関する法律等の枠組みは整備されたものの、まだまだ取り組みが不十分であること。

◇根深い固定的性別役割分担意識の存在と、それを反映した制度・慣習・しきたりが残っていること。

◇セクシュアル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンス（DV）などの人権侵害が年々、増加していること。（下表を参照）

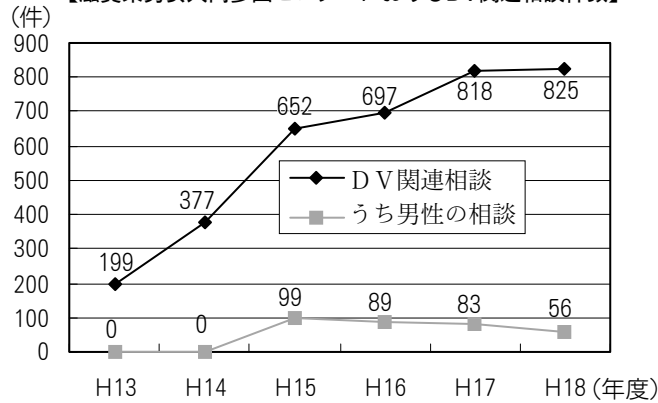
これらの課題に対しては、今後も継続した取り組みが必要です。

## ◆取り組みの方向

男性も女性も仕事と家庭の両方を重視したいという希望が高いものの、実際は希望する生活スタイルが十分にかなえられていません。長時間労働、仕事中心の生活スタイルの男性が多く、女性が家庭の責任の多くを担うことにつながっています。仕事と家庭の二重の負担、あるいは、仕事か家庭の二者択一を余儀なくされるなど、女性の能力の発揮や多様な選択を妨げています。このような状況を解消するため、次のような取り組みが必要です。

## Part II

【滋賀県男女共同参画センターにおけるDV関連相談件数】



① 少子高齢化の進展など社会経済情勢の急速な変化への対応

◇人口減少社会に対応する

今後、日本社会全体が人口減少社会に転じると予想されているため、新たな社会の構築が必要です。

◇少子化の流れを変える

長時間労働などの働き方が、男性の子育て、介護などへの参画を困難にしており、女性の子育てに対する負担感等を増大させる原因になっており見直しが必要です。

◇労働力不足に対応する

第一子の出産を機に約七割の女性が離職しています。また、女性の働き方に対する希望と現実の間にギャップが生じています。女性の労働力の活用が必要です。

◇地域の担い手不足を解消する

② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◇男性を中心とした長時間労働の働き方の見直しと、子育て・介護、地域活動への参画を図ることが必要です。

◇女性の育児への不安感・負担感の解消と多様な選択を可能にする環境づくりを図ることが必要です。

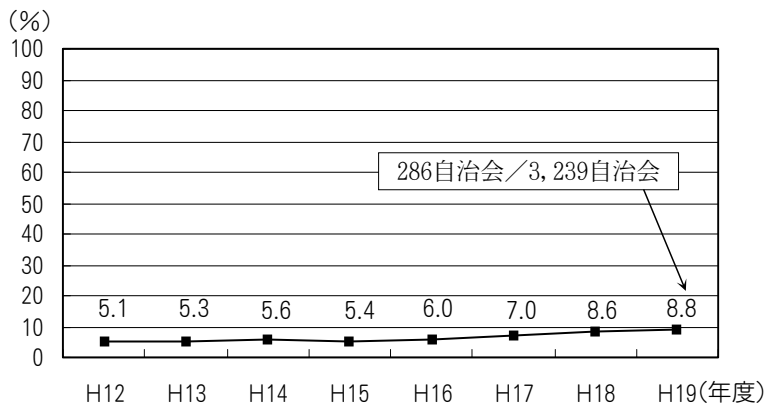
◇多様な人材を活かす企業経営と地域活動の活発化を図ることが必要です。

③ 男女がともに担う地域づくり

◇様々な分野において女性の力を生かす地域づくり、政策方針等の決定過程への参加促進が必要です。

◇女性が意欲を高め、挑戦し、活躍できる環境づくりが必要です。

【県下で女性代表・副代表のいる自治会の割合(滋賀県男女共同参画課調べ)】



以上のように、男女共同参画を進めていくうえでの課題が見えてきました。社会経済情勢等の急激な変化への対応とともに、今後も一層、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが必要となっています。

※次回は、「『ドメスティック・バイオレンス（DV）関係』の記事」を予定しています。（隔月掲載です。）

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎26552 有線58963